

教 育 研 究 業 績 書		
令和7年 5月 1日		
氏 名 桜 井 裕 子 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
身体教育学	体育科教育、フィットネス、表現運動、小学校体育科	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
① 和歌山信愛女子短期大学附属幼稚園のダンス指導の実施	平成28年4月 ～平成31年3月 平成31年4月 ～令和3年3月 令和3年4月 ～現在に至る	ZUMBA kid's の指導を行った。 国名や国旗などの学習や、簡単な英単語を学びながら ZUMBA を体験させた。（年間3曲） ZUMBA の指導に加え、リズムトレーニングをウォーミングアップに導入し、リズムに合わせて様々なジャンプを行った。 リズムトレーニングで様々なジャンプを行い、リズム感を養うと共に、リズムに合わせて、ボールを投げたり、キャッチしたりなど、運動へと繋がるような指導を行った。
② 和歌山信愛女子短期大学附属幼稚園児の体育指導の実施	平成31年4月 ～令和元年3月	グラウンドを使用し、体力測定を行い、様々な動作（走る・投げる・引っ張るなどを中心）を取り入れた運動遊びを行った。
③和歌山信愛女子短期大学での「保健体育実技」の指導補助の実施	平成26年4月～ 平成30年10月	体育実技の指導補助や、ダンスの時間ではレッスン形式でエアロビクスや ZUMBA などの指導を行った。
⑥和歌山信愛女子短期大学 保育科（助手）における実績	平成31年4月 ～令和2年3月	「保健体育実技・講義」「保育内容演習（健康）」「保育内容演習（身体表現）」「幼児体育」などの実技科目に入り、授業の補助や授業内容について学んだ。また、その他の保育科の授業を見学し、「保育」についての知識を深めた。
⑦和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科での 科目「保健体育実技」における 授業の実施	令和2年4月 ～現在に至る	和歌山信愛女子短期大学生生活文化学科生活文化専攻・食物専攻の実技科目「保健体育実技」（1年次配当、2単位）において実践した。「生涯スポーツ」をテーマに実技を行っている。その中で、より良く動ける身体作りを目指し、様々な面からアプローチする方法を伝えている。
⑧和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科での 科目「保健体育講義」における 授業の実施	令和2年4月 ～現在に至る	和歌山信愛女子短期大学生生活文化学科生活文化専攻・食物専攻の講義科目「保健体育講義」（1年次配当、1単位）において実践した。本講義では、生涯を健康的に過ごすことができるよう、食事、睡眠、運動など様々な面から「健康」をテーマで実施している。
⑦和歌山信愛女子短期大学 保育科での 科目「保健体育実技」における 授業の実施	令和3年4月 ～現在に至る	和歌山信愛女子短期大学保育科の実技科目「保健体育実技」（1年次配当、2単位）において実践した。「生涯スポーツ」をテーマに実技を行っている。その中で、より良く動ける身体作りを目指し、様々な面からアプローチする方法を伝えている。
⑧和歌山信愛女子短期大学	令和3年4月	和歌山信愛女子短期大学保育科の講義科目「保

保育科での 科目「保健体育講義」における 授業の実施	～現在に至る	健体育講義」（1 年次配当、1 単位）において実践した。本講義では、生涯を健康的に過ごすことができるようになるよう、食事、睡眠、運動、女性の身体についてなど様々な面から「健康」をテーマで実施している。
2 作成した教科書、教材 ① ②		
3 教育上の能力に関する大学 等の評価 ① 和歌山信愛女子短大学学生 による授業評価アンケート結 果における評価	令和 2 年 12 月	大学において前期・後期に各 1 回実施されている学生による授業評価アンケートによると、本人が担当の「保健体育実技」は、教員の教え方が 4.88 点、授業内容が 4.88 点であった。全体平均（順に 4.38 点、4.26 点）を比較的に上回っているため、学生の満足度は高かったと言える。
4 実務の経験を有する者につ いての特記事項 ① 和歌山信愛高等学校バスケ ットボール部 リズムトレーニング講師 ②和歌山県中紀地区ミニバスケ ットボール対象リズムジャンプ 講師 ② 和歌山県立田辺高等学校女 子バスケットボール部のリ ズムトレーニング講師 ④和歌山市保育連合会主催 「第 36 回親と子のふれあいデ ー」リズムジャンプ講師 ⑤和歌山信愛高等学校ソフトテ ニス部のリズムトレーニング講 師 ⑥和歌山市立西脇中学校男子バ スケットボール部のリズムトレ ーニング講師 ⑦日高川町立三百瀬小学校 体 育科授業（体づくり運動・表現 運動）講師 ⑧和歌山市立太田小学校 体育 科授業（体づくり運動）講師	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 12 月 平成 31 年 4 月 30 日 令和元年 9 月 29 日 令和元年 11 月 4 日 令和元年 10 月～ 令和 2 年 12 月 令和元年 12 月 1 日 令和 2 年 11 月 30 日 令和 2 年 12 月 17 日	月に 2 回（1 回約 20 分）、リズムトレーニング指導を行っている。約 30 名の部員対象に、基礎的なものから、ボールを使用したものなどを組み合わせ講師を務めた。 和歌山県中紀地区のミニバスケットボール所属メンバー（計 5 チーム）、約 90 名の男女小学生（3～6 年生）対象に、バスケットボールにおけるリズムの必要性を伝え、にリズムジャンプの講師を務めた。基礎的なものを中心に様々なジャンプを行った後、高学年のみ 30 分間、応用ジャンプを行った。 高校 1・2 年生女子 12 名対象に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの講師を務めた。 親子ふれあいイベントに講師として参加。 和歌山市内の親子約 600 名対象に、リズムに合わせて、親子で楽しめる様々なジャンプの講師を務めた。 週に 1 回、約 30 名の部員対象に、基礎的なものから、テニスに関連する動作などを取り入れ、リズムトレーニングの講師を務めた。 中学 1・2 年生男子 16 名対象に、バスケットにおけるリズムの必要性を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの講師を務めた。 小学校 3～6 年生 24 名対象に、体育科の授業（体づくり運動・表現運動）の講師を務めた。 リズムジャンプを学習したのち、様々なジャンプを繋げ「紅蓮華」に合わせて振り付けを覚え、発表した。 小学校 2 年生 54 名対象に、体育科の授業（体づくり運動）の講師を務めた。リズムジャンプを行い、リズムに合わせて体を動かす心地よさを学習させた。

⑨和歌山市立芦原小学校 体育科授業（体づくり運動・表現運動）講師	令和 2 年 12 月 18・22 日	小学校 5・6 年生 24 名対象に、体育科の授業（体づくり運動・表現運動）の講師を務めた。リズムジャンプを学習したのち、様々なジャンプを繋げ「紅蓮華」に合わせて振り付けを創作し、発表させた。
⑩和歌山県女子バスケットボール選抜 U14 のリズムトレーニング講師	令和 3 年 1 月 9 日	和歌山県の選抜メンバー15 名対象に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの講師を務めた。
⑪和歌山市立和歌山高等学校バスケットボール部 リズムトレーニング講師	令和 3 年 3 月 23 日	高校 1・2 年生 20 名対象に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの講師を務めた。
⑫体育 ICT 研究会 GW「運動遊び」オンライン講座 ファシリテーター	令和 3 年 5 月 1～3 日	体育 ICT 研究会研究推進委員長、鈴木直樹氏（東京学芸大学准教授）の下、幼児から小学生対象に、オンラインで他の地域の子どもたちと関わり、一緒に遊びながら休日過ごすプログラムを行なった。 1 日目は「フィットネス遊び」、2 日目は「ボールゲーム」、3 日目は「リズムダンス」という内容で、ZOOM を活用し、全国の約 50 名の子ども達が参加し、トークルームに分かれた際のファシリテーターを行った。
⑬橿原市立八木中学校女子バスケットボール部のリズムトレーニング講師	令和 3 年 7 月 30 日 12 月 12 日	中学 1・2 年生 20 名対象に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの講師を務めた。
⑭和歌山市立西脇中学校女子バスケットボール部・女子バレー部のリズムトレーニング講師	令和 3 年 8 月 8 日	中学 1・2 年生、バスケットボール部 16 名、バレー部 15 名対象に、各競技に必要なリズムの説明を行いながらリズムトレーニングの講師を務めた。
⑮和歌山市立雑賀小学校 体育科授業（運動会振付指導及び表現）講師	令和 3 年 9 月 16 日 ～10 月 28 日	小学校 4 年生 120 名対象に運動会の振付指導に加え、4 クラス（1 クラス 30 人）2 時間ずつ、表現の授業の講師を務めた。 リズムジャンプを取り入れ、5 人ずつのグループに分かれ創作活動を行い、単元終了時に発表・鑑賞を行った。
⑯和歌山市立太田小学校 体育科授業（体づくり運動）講師	令和 3 年 12 月 6・16 日	小学校 1 年生 56 名、2 年生 62 名に、体育科の授業（体づくり運動）の講師を務めた。リズムジャンプを行い、リズムに合わせて体を動かす心地よさを学習させた。
⑰和歌山市立西脇中学校女子バスケットボール部のリズムトレーニング講師	令和 4 年 1 月 3 日	中学 1・2 年生女子 15 名対象に、基礎的なものから、ボールを取り入れ、バスケットボールの動きを組み込みながらリズムトレーニングの講師を務めた。
⑱美浜町バトミントクラブの リズムトレーニング指導	令和 4 年 1 月 5 日	小学 2 年生から中学 2 年生の男女 20 名対象に、リズムの必要性の説明を行いながら、バトミントの動きに関連付け、リズムトレーニングの講師を務めた。
⑲和歌山市立雑賀小学校 体育科授業（運動会振付指導及び表現）講師	令和 4 年 5 月 31 日 ～9 月 19 日	小学校 5 年生 120 名対象に、運動会の振付指導に加え、4 クラス（1 クラス 30 人）5 時間ずつ、表現の授業の講師を務めた。 リズムジャンプを取り入れ、7 人ずつのグループに分かれ創作活動を行い、単元終了時に発表・鑑賞を行った。

⑳和歌山市立楠見中学校男女バスケットボール部のリズムトレーニング講師	令和4年 8月16日 ～令和5年 5月3日	中学1～3年生男子23名対象に、月に2回（1回約30分）、リズムトレーニングの講師を務めた。バスケットボールの動きと連携させながら、基礎的な動きや、ボールを使用したものなどを組み合わせトレーニングを実施した。
㉑橿原市立八木中学校女子バスケットボール部・女子バレーボール部のリズムトレーニング指導	令和4年 8月29日	中学1・2年生バスケットボール部19名、バレー部30名対象に、各競技に必要なリズムや身体の使い方について説明を行いながらリズムトレーニングの講師を務めた。
㉒和歌山県立有田中央高等学校体育科授業（1年生）講師	令和4年 12月9日	高校1年生1組35名、2組28名の1クラスごとに、動かしやすい身体の使い方やストレッチ方法、リズムトレーニングなどを取り入れ、体育の授業の講師を務めた。
㉓和歌山県立有田中央高等学校全クラブ合同 リズムトレーニング指導	令和4年 12月9日	野球、卓球、ダンス、バスケットボール部の高校1・2年生50名を対象に、各競技に必要なリズムの説明を行いながら、リズムトレーニングの講師を務めた。
㉔和歌山市立太田小学校 体育科授業（体づくり運動）講師	令和5年 2月20日	小学校2年生62名、5年生60名対象に、体育科の授業（体づくり運動）の講師を務めた。リズムジャンプを行い、リズムに合わせて体を動かす心地よさを学習させた。
㉕和歌山県立田辺中学校新1年生オリエンテーションリズムトレーニング指導	令和5年 4月20日	中学1年生男女80名対象に、中学校生活を送るにあたり、学習面や運動面で必要になってくる力を伝えながら、90分間リズムトレーニングの講師を務めた。
㉖和歌山市立雑賀小学校体育科授業（表現運動）講師	令和5年6月30日 ～7月14日	和歌山市立雑賀小学校3年生27名対象に、6時間の体育科授業（表現運動）の講師を務めた。
㉗和歌山市立雑賀小学校体育科授業（運動会振付）講師	令和5年8月29日 ～9月28日	和歌山市立雑賀小学校3年生110名対象（1クラス27名×4クラス）に、体育科授業（運動会振付指導及）の講師を務めた。
㉘和歌山県立有田中央高等学校リズムトレーニング講師	令和5年12月27日	和歌山県立有田中央高等学校1～3年生40名対象に、体育科授業の講師を務めリズムトレーニングを実施した。
㉙和歌山市リズムジャンプサークル	令和6年1月28日	和歌山市の年中から小学2年生20名を対象に、リズムジャンプの講師を務めた。
㊀和歌山市リズムジャンプサークル	令和6年3月10日	和歌山市の年中から小学3年生50名を対象に、リズムジャンプの講師を務めた。
㊁和歌山市立楠見中学校運動部対象リズムジャンプ講師	令和6年3月25日	和歌山市立楠見中学校1・2年生の運動部活動部員70名を対象にリズムジャンプの講師を務めた。
5 その他 ① ②		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 ①日本フィットネス協会 エアロビクダンスインストラクター ②中学校教諭 一種免許状 （保健体育）	平成22年3月 平成23年3月	平二二中一第三七八号（大阪府教育委員会）

③ 高等学校教諭 一種免許状 (保健体育) ④ 日本バスケットボール協会 JBA 公認 C 級コーチ ⑤ 柔道 初段 ⑥ ZUMBA インストラクター BASIC1 インストラクター ⑦ ZUMBA インストラクター BASIC2 インストラクター ⑧ ZUMBA Kid's インストラクター ⑨ AFFA 認定 プライマリー・ フィットネス・インストラク ター ⑩ 日本幼少年体育協会 幼児体育指導者 2 級 ⑪ 上級救命技能認定 ⑫ 一般財団法人日本コンディシ ョニング協会 JCCA 認定 コ アフォーストレーナー ⑬ 一般財団法人 日本コンディ ショニング協会 ひめトレ普及 員 ⑭ スポーツリズムトレーニング 協会 DEFFUSER ⑮ スポーツリズムトレーニング 協会 インストラクター ⑯ 幼少年体育指導士 ⑰ ZUMBA インストラクター GOLD インストラクター ⑱ スポーツリズムトレーニング 協会 リズムステップインスト ラクター	平成 23 年 3 月 平成 24 年 3 月 平成 25 年 2 月 平成 25 年 12 月 平成 26 年 8 月 平成 28 年 5 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 8 月 平成 29 年 8 月 平成 30 年 8 月 平成 30 年 9 月 平成 30 年 11 月 平成 31 年 3 月 令和 元年 9 月 令和 2 年 10 月 令和 3 年 3 月	平二二高一第六三一号 (大阪府教育委員会)
2 特許等 ① ②		
3 実務の経験を有する者につ いての特記事項 ① 第 13 回全国フライト エアロビック選手権大会 第 14 回全国フライト エアロビック選手権大会 第 15 回全国フライト エアロビック選手権大会	平成 30 年 2 月 平成 31 年 2 月 令和 2 年 2 月	女子 1 31 位 女子 2 15 位 女子 2 12 位
4 その他 ① ②		

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 2 3				
(学術論文) 1 5歳児における運動能力調査の比較～エアロビック動作の影響に関する一考察～	単著	令和2年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.61」 p.51-p.56	現在、幼少年期の体力低下が問題視されているため、研究者が運動指導を行っている現場の状況を把握し、エアロビクスダンスのレッスン内容および、エアロビック動作（技）の習得度の差が、5歳児の運動能力にどのような影響を及ぼしているのかについて、2016年と2019年に実施した運動能力調査の結果を比較し、エアロビック動作の有効性について考察を行った。
2 子どもの表現を育むための授業実践に関する考察	共著	令和2年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.61」 p.43-p.49	子どもにとって表現とはどのようなもので、何故担う活動が必要なのかという問題意識を抱き、かつ実践へと繋げていくためには、教育者としての「表現」にまつわる体験が必要条件であると考えた。「子どもの表現」の授業において音楽・身体・造形を総合的に取り扱う「体験」を着眼点とし、教育実践に基づき(1)本授業内で扱った内容が現場で活かされるものとして妥当なのか。(2)学生自身が本授業での体験をどのように受け止めているか。対象学生へ「授業実践後」と「教育実習終了後」にアンケート調査を行い、得られた結果の比較から考察を行った。
3 教育現場で行われている表現に関する実態調査と領域の内容に関する考察	共著	令和2年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.61」 p.37-p.42	本人担当部分：アンケート結果のデータ分析を行った。 共著者：今西香寿、野村真弘、種田葉子、 <u>石川裕子</u> 表現力の基盤は人格形成がなされていく幼児期の経験が大きく影響し、表現方法を身につけるには、様々な体験や経験によって培われていく。保育現場の行事における表現活動は子どもたち自身からの表現ではなく、保育者に「やらされている」「させられている」姿になっているのではないかと考え、保育者が子どもに対し、どのようなことに気をつけ、またどのような表現の経験が必要かを明らかにするために保育者を対象にアンケート調査を行い検討を行った。 本人担当部分：アンケート結果のデータ分析を行った。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
4 小学校におけるリズムダンスの実践～リズムジャンプを用いた創作活動～	単著	令和4年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.63」 p.39-p.45	共著者：今西香寿、野村真弘、種田葉子、石川裕子 主体的な学習活動が求められるようになったにも関わらず、表現運動の指導現場では、既成のダンスを一方的に教える授業スタイルが多くみられる。リズムジャンプを取り入れ、教師が一方的に指導する「一斉型授業」とグループで創作させる子ども中心の「放任型授業」のハイブリッド形式で授業をデザインし、2 時間単元と 4 時間単元での実践を行い、その達成度と形成的授業評価票を用いて学びの検証を行った。
5 小学校体育科での表現運動の実践-没頭度と感想文の分析による検証-	共著	令和5年2月	「和歌山大学 教育学部紀要 - 教育科学 - 第 73 集」 p. 35-p. 41	表現運動単元において、毎時間の前半には表現、後半にはリズムダンスをゴールフリーな学習として実践し、その結果を検討した。その結果、他者の真似の段階から自ら表現し、作品として踊る段階まで学習が進んだと捉えることができ、自分なりの表現に近付けることができた。さらに、表現におけるくずしの学習が、これらの認識の変化を生み出した。
6 小学校におけるリズムダンスの実践ーダンス学習で育むコミュニケーション能力ー	単著	令和5年3月	「わかやま子どもセンタージャーナル 第 4 号」 p. 113-p. 119	本人担当部分：4つのくずしの分析を行い、「はじめに」の文章作成を行った。 共著者：村瀬浩二、石川裕子、則藤一起 ダンスの授業における創作活動は「課題解決学習」であり、身体を使った「体験学習」であり、創作の過程においては「調査学習」であるなど、様々なアクティブ・ラーニングの形態を持つ。学習指導要領改訂に伴い、保健体育科においても言語活動の充実が求められるようになったため、小学第 5 学年で表現運動のリズムダンスの授業を 5 時間単元で実施し、グループワークでの創作活動を行い、その達成度と形成的授業評価票を用いて学びの検証を行った。
7 小学校におけるリズムダンスの実践～「4つのくずし」の学習過程	単著	令和6年3月	和歌山信愛短期大学 信愛紀要 No. 65 p. 33-p. 43	小学校 3 年生の表現運動の授業を 6 時間単元で行い、リズムダンスの創作活動を行った。その際、村田が提案する「4つのくずし」を段階的に学習させ、イメージを広げた動きができるように授業をデザインし、その達成度と形成的授業評価票を用いて学びを検証した。その結果、「4つのくずし」を段階的に学習させることは効果的であったが、イメージを広げる動きを引き出すためには、具体的に動きが見えないものをテーマとして取り入れることが課題となった。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
8 小学校における ICT を活用したリズムダンスの実践～リズムジャンプを用いた「4つのくずし」の学習過程～	単著	令和7年3月	和歌山信愛短期大学 信愛紀要 No. 66 p. 51-p. 63	小学校3年生の表現運動の授業を7時間単元で行い、リズムダンスの創作活動を行った。村田が提案する「4つのくずし」を体験的に且つ、段階を踏みながら学習させた。そして、グループワークでは I C T (Chromebook) を使用し、課題解決をしながら創作活動を行うことによって、どのような効果を得ることができるか検証することを目的とした。その結果、自分たちの動きを撮影し、課題解決をすることで、更に学びを深めることができたと言える。しかし、グループワークの経験が少ない小学校3年生においては、予め話し合いの手だてになるようなワークフローを提示したうえでグループワークを始めることが、今後の課題となった。
(その他) 「学会発表」 1 2 3 「 」 1 2 3 「 」 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	— — —			

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発 表雑誌等又 は発表学会 等の名称	概 要